

令和2年度 第2回 大阪府立島本高等学校 学校運営協議会 議事録

○委員構成（敬称略）

柘植 誠子（短期大学准教授）、花田 順子（地元民生委員児童委員協議会委員）
飯島 知明（地元中学校教頭）、三上 裕貴（地元中学校首席）
織 晃久（本校同窓会副会長）大草 珠子（本校PTA会長）
伊藤 義孝（本校校長）、杉田 真規子（本校教頭）、美濃 秀政（本校教頭）
瀧澤 昭友（本校事務長）、佐々木 哉司（本校首席）、札木 理（本校首席）

○日時：令和2年11月20日（金） 14：00～16：30

○場所：会議室

○内容：14：00～14：45 授業見学

14：45～15：15 芸術祭（校内展示）見学

15：15～16：30 協議

○出席者（敬称略）

三上 裕樹、花田 純子、織 晃久、大草 珠子、伊藤 義孝、杉田 真規子、美濃 秀政、
瀧澤 昭友、佐々木 哉司、札木 理、齊藤 伸二、樋上 聡（記録）、西生 尚史（記録）

1. 会長挨拶（代理 - 三上委員）

2. 校長挨拶

3. 議案

（1）本校芸術祭展示見学について

<校内展示>

【ご意見等】

- ・美術の作品（観覧車）が、初めて見た動きのある作品だったので印象的だった。
- ・美術（観覧車）作品の着眼点に面白さを感じた。今年の作品は、丁寧に作られている。
- ・美術の観覧車の作品を見て「触ってもいいですか？」と言ってしまう完成度の高さだった。
- ・色で気持ちを表している作品もあった。
- ・思わず凝視してしまった。自分の気持ちがよく表現されている。
- ・生徒各々の独自の観点に基づく作品であったことが面白かった。
- ・書道などの作品は、生徒個々の感性がよく現れていた。
- ・面白い作品ばかりだった。来年度も是非とも見たい。

<授業見学>

【ご意見等】

- ・生徒は自分の意見を先生に伝えることができていると感じた。
- ・少人数編成という恵まれた環境で授業が行われている。
- ・教え子の成長を見ることができて興味深かった。

- ・現時点で島本高校への進学を希望している生徒がおり、大変参考になった。
- ・中学校の頃に「ピアノができない。」と言っていた生徒が、しっかりできるようになっていた。先生方の丁寧なご指導のおかげだと思う。
- ・ピアノ演奏の指導をすごく丁寧に寄り添ってやってくれるのは良い。あの指導方法なら生徒が行き詰まって投げ出さないと考えた
- ・情報演習の授業は、有用性が感じられ、中学校でも将来的に必要となる為、参考になった。
- ・英語の授業で「もう少し集中していたら伸びるのになあ」と感じる生徒がいた。
- ・集中力に欠ける生徒が散見された。取組み次第で向上する可能性を大いに秘めていると思われるので残念に感じた。
- ・授業態度が惜しい生徒がいた。もう少ししっかりしてほしい。
- ・授業に必要なものが机に出ていた。何故、生徒に注意をしないのか疑問に思った。

【質問】透明ピアスの装着者、携帯電話やタブレット端末の所持者には、どのように対応しているのか。

【回答】透明ピアスについては、外すように指導しているが、見逃してしまうこともある。体育の授業では、装飾品を外すことを必須としている。携帯電話等を授業中に使用すれば預かり指導をしている。

(2) 令和元年度及び令和2年度進路の状況について

- ・過去、4年制・短期大学、専門学校、就職の割合は約3分の1であったが、昨年・今年度は就職が4割を超える。
- ・4年制大学の総合選抜型が増えている。
- ・就職コースへの進路変更者が、例年一桁であったが、20名と急増。
- ・新型コロナウイルスの影響により、就職試験解禁日が1ヶ月遅れとなった。また、WEB筆記やWEB面接を実施することになった。
- ・進路未決定者の率については平成27年度以後は10%を切り一桁台になっている。

(3) 令和2年度生徒の状況について

- ・登校遅刻、授業遅刻ともに「推移」のグラフのように減少傾向である。令和元年度については入学生徒の大幅な減少による影響が考えられる。

【ご意見等】

- ・登校遅刻の回数が年々減少している。根気強い指導の成果だと思う。
- ・大阪青凌高校の生徒の影響なのか、JR島本駅近辺での島本高校生を目に付くような振る舞いが減ったように思われる。

【質問】授業を抜け出した生徒は、その後何をしているのか。

【回答】トイレに行くなどして、教室に戻るのに時間がかかっていることがある。その場合、生徒指導室で途中退出カードを受け取ったうえで教室に戻ることを課している。

(4) 令和2年度学校経営計画進捗状況について

【質問】新型コロナウイルスの影響により、実行できなかったことは何か。

【回答】外部連携事業に参加できない等の影響はあったが、大阪人間科学大学とは高大連携特別授業として、オンライン授業を実施した。

【質問】卒業時にキャリアパスポートをどのように活用するのか。

【回答】学校生活や行事に関する振り返りを行い、進学先等に引き継げるように指導していく。

【質問】生徒会活動は、中学校などとの連携はできないのか。

【回答】オーストラリアからの留学生受入については留学が延期となった。生徒会では別の方法（オンラインでの交流等）を検討している。

また毎朝の挨拶運動や、学校説明会では校長挨拶後に生徒会生徒によるパネルディスカッションを通して島本高校の魅力を伝えるなど、生徒会活動は活発であり、中学校との連携についても要望があれば積極的に応じたい。

(5) 令和2年度学校教育自己診断について

【質問】学校として新たな取組みは、何かあるのか。

【回答】島本スタンダードの考え直しを行った。また、10年経験者研修受講者の教員が中心となって、観点別評価に取り組んでいる。さらに、授業の評価を明確化する、いわゆる「見える化」に重点を置いた授業改善にも取り組んでいる。

(6) 令和3年度選定教科書について

- ・会議終了後、送付されてきた各教科の教科書見本を閲覧の上、選定についてご了解頂いた。

(7) その他（学校運営協議会実施要項の改正について）

- ・府教育委員会通知「学校運営協議会の運営に関する要綱及び学校運営協議会実施要項準則の改正について」（令和2年11月9日付教高第2864号）により、大阪府立島本高等学校学校運営協議会実施要項の改正案を提示し、承認。

(8) 質疑応答及び意見交換

- ・クラブ活動については、今年度から、総合型地域スポーツクラブ（しまもとバンブークラブ）との連携により、島本町近隣中学生を対象とした「ダンス」を実施している。そのあり方や連携については、今後協議、検討を図っていく。

次回 令和3年1月22日（金）（予定）